

循環型社会の実現

経済活動や人口の増大に伴い、天然資源の消費抑制や廃棄物排出削減に対する社会的な要請が高まっています。川崎重工は、資源を無駄なく利用する製品とものづくりで、有限な資源を大切に活かし切り、循環させることを目指しています。そのため、製造時の廃棄物削減とリサイクルを進め、PCB廃棄物についても計画的な処理を推進しています。

第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標

3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進

目 標	①廃棄物総排出量の削減およびゼロエミッションの堅持 → 廃棄物総排出量を原単位で第8次実績値から1%以上削減 最終処分率は1%以下とする
	②リユース・リサイクルの推進 → リサイクル率を98%以上とする
	③PCB処理の推進 → 高濃度・低濃度PCB廃棄物を計画的に処理する

廃棄物排出量の削減

資源を無駄なく利用し、生産活動で発生する廃棄物を原単位で削減すること、リサイクルを推進し埋め立て処分する廃棄物をゼロにすることを目標に活動を継続しています。

2016年度は、廃棄物排出量原単位4.36t/億円であり、2013年度から2015年度の平均値に比べ6.2%削減しました。最終処分(埋立)率も0.2%であり、目標である1%以下を達成しました。また、当社のリサイクル率は98%と前年(97%)を上回りました。今後も3Rを中心とした施策を推進していきます。

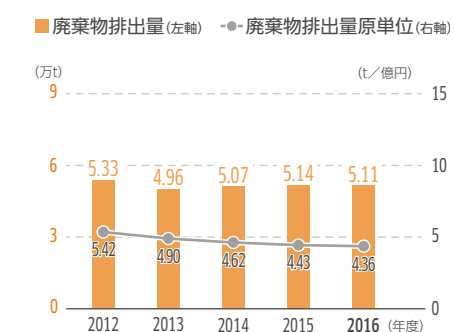


図12: 廃棄物排出量と廃棄物排出量原単位

注) 原単位は廃棄物排出量を売上高で除した値です。

PCB処理の推進

ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の処理は、適正処理等を規定したストックホルム条約に基づき世界的に進められています。国内では、環境省が設立した中間貯蔵・環境安全事業株式会社を中心とした処分が計画的に実施されており、当社が保有するPCB処理も国の計画を前倒しで完了する目標を設定しています。

目標達成に向け、使用中のPCB含有製品機器の停止と保管、処分数量の確定、処分委託先の検討(低濃度PCB廃棄物)を確実に実行しています。2016年度は処分費基準で79%まで処分済であり、目標に対して順調に処理を進めています。